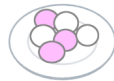




## 相川っ子ゲーム集会

12月22日に、相川っ子ゲーム集会が行われました。相川小学校には、縦割班があります。1年生から6年生までが所属する約25人の班です。1年間を通して、6年生をリーダーとして、様々な活動に取り組んできました。相川っ子ゲーム集会は、その集大成です。6年生が中心になって準備したゲームを、縦割班のグループで巡回して楽しみます。児童が自分たちで計画して、自分たちで運営する児童会活動の1つです。リーダーとして頑張った6年生と、仲良く協力し合えた全校の児童に拍手を送りたいと思います。

## 3年生「繭玉づくり」



1月12日、食生活改善推進委員会の皆様にご来校いただき、3年生の児童に繭玉づくりを教えていただきました。12名の委員の皆様が、各班に分かれ、一つ一つの作業を丁寧に教えてくださいました。児童は、自分の願いや夢を込めながら丁寧に作業を進めていました。自分の地区の繭玉づくりに参加した児童もいたようです。実際に体験しながら、地域の伝統を学ぶ貴重な経験ができました。



## 書きぞめ大会

3学期が始まり、各学年で書きぞめ大会が行われました。1年生と2年生は、鉛筆で書く硬筆です。3年生以上は、毛筆です。2学期から学習を始め、冬休み中にも各家庭でたくさん練習に取り組んだようです。

しあげた作品は、各教室に掲示されました。2月の授業参観の際に、保護者の皆様にご覧いただきたいと思います。

# 大きな地震が起こったら

もしもの時に備えて  
2つの確認



1月1日に能登半島地震が発生しました。山梨県に住むわたしたちにとって、自分事として捉えなければならない災害です。もしもの時に備えて2つのことを、ご家庭と学校とで情報を共有しておきたいと思います。



## 震度5弱以上は引き渡し

児童が学校で生活している最中に、震度5弱以上の大きな地震が発生した場合には、児童を学校に留め置きます。安全を確認後に、保護者・代理人（引き渡しカードに記載されている方）への引き渡しを行います。

学校は、引き渡し実施について保護者の皆様への連絡を試みますが、情報を発信できないことも想定されます。学校からの連絡がなくても、震度5弱以上の地震が発生したときには、児童の引き渡しが実施されると判断して行動することをお願いします。保護者や代理人が学校に来ることが困難な状況も想定されます。引き取りに来るまで児童は保護しますので、身の安全を確保しながら慌てずに行動してください。

大きな地震が発生した場合に学校の職員は、児童の安全確保に注力します。また、学校が使用できる電話やメール等の連絡手段は、児童の安全確保のために使用します。そのため、災害時の学校への連絡はなるべく控えていただくことをお願いします。



## 登下校中は近いところへ避難

児童の登下校中に大きな地震が発生したときには、ブロック塀や自動販売機等の危険物から離れ、交通に気をつけながら、シェイクアウト訓練の動作（低く、頭を守り、動かない）を取るよう指導します。

大きな揺れが治まったら、「自宅・避難所・小学校」の内、近いところに避難します。保護者の皆様は、お子様が「自宅・避難所・小学校」のいずれかに避難していると考え、引き取りをお願いします。「自宅・避難所・小学校」のいずれにもたどり着けない場合には、通学路の安全な場所で待機するよう指導します。「自宅・避難所・小学校」のいずれにもお子様がいない場合には、通学路を確認してください。

どのくらいから大きな揺れなのかを判断することも、児童にとっては難しいことだと思います。各自の判断で、危険だと思ったら躊躇することなく上記のような行動をとるよう指導します。

以上が、登下校中に大きな地震が発生した場合の、基本の動きです。各家庭の実情に応じて、最適な方法をお子様と確認してください。

## 大谷翔平選手からのグローブ

大谷翔平選手からのプレゼントが相川小学校にも届きました。大谷選手からのメッセージも同梱されていました。3つのグローブが、次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいるそうです。「野球しようぜ。」で、メッセージは締めくくられていました。

3つのグローブをどのようにして活用していくかを、児童会が考えてくれています。野球に限らず、一人一人の夢を考えるきっかけになることを期待しています。



文責：校長 桐山 賢一